

「力学」初版第2刷 正誤表

最終更新日：2012.06.15

- 10 ページ，(17) 式の上の行

誤：(12) を導入したのと同じように

正：(12) を導出したのと同じように

- 55 ページ，(123) 式

誤：

$$\mathbf{r}(t) = \int_0^t \mathbf{v}(t) dt = \frac{1}{2} \mathbf{g} t^2 + \mathbf{v}(0) t + \mathbf{r}(0)$$

正：

$$\mathbf{r}(t) = \int_0^t \mathbf{v}(t) dt + \mathbf{r}(0) = \frac{1}{2} \mathbf{g} t^2 + \mathbf{v}(0) t + \mathbf{r}(0)$$

- 60 ページ，最下行

誤：と U の交点が最大振幅を与え，

正：と U の交点が最大変位を与え，

- 84 ページ，(236) 式の上の行

誤：ワイヤーからの張力の xy 面内の成分は

正：ワイヤーからの張力の $x'y'$ 面内の成分は

- 82 ページ，(231) 式の下の方

誤：が働いているはずである．

正：が働いているはずである ($\mathbf{r} = (x, y, 0)$) ．

- 86 ページ，(244) 式左辺

誤： $\omega \cos \theta (x'^2 + y'^2) =$

正： $-\omega \cos \theta (x'^2 + y'^2) =$

- 89 ページ，5 行目

誤：この節では，質点系の

正：この章では，質点系の